

専任輪番会報告「高山教務支所」と「ひだご坊」の教化協力の展開

去る7月10日、本山宗務所において専任輪番会が開催された。今回、2023年に設置された宗務審議会「別院の将来構想に関する委員会」答申についての説明がなされた。これを受けて宗派は、「別院の再編成に関する委員会」を設置し、いよいよ別院の存続にかかわるような議論に取り組んでいくことになる。

■宗務審議会「別院の将来構想に関する委員会」答申

2023年に上記委員会(会長・内記浄氏)が立ち上げられ、51別院すべての項目にわたり意見(アンケート)が求められ、本年2025年5月2日に「答申書」が委員会より発表された。各別院千差万別で、その格差は大きい。以下、数点を拾う。

- ※ 別院所属門徒のある別院 38、ない別院 13
- ※ 崇敬区域のある別院 46、ない別院 5
- ※ 護持金のある別院 25、ない別院 26
- ※ 納骨堂のある別院 21、ない別院 30
- ※ 教化担当組織のある別院 28、ない別院 23
- ※ 年収入 200 万円の別院と 13 億円収入の別院 (2022 年度)

「答申書」をもって委員会は解散し、本年宗議会で新しく「別院の再編成に関する委員会」の条例が公示

された。その目的と定義を以下述べる。

A, 別院再編成の目的

別院の再編成は、準開教区を除く全国 51 別院について、宗務審議会「別院の将来構想に関する委員会」の答申に基づき、各別院が置かれている現況及び編入される教区の構造的な環境変化等を見据え、別院の解散、合併又は新たな位置づけ等、それぞれの別院の将来展望に立った改革を行うことを目的とする。

B, 別院再編成における定義

別院再編成とは、別院が、教区改編や運営、財政環境の変化に対応をするために、本山・教区・別院の組織構造や業務プロセスを見直し、再構築することを指す。具体的には、①別院の解散・合併・普通寺院化や②別院の新たな位置づけ、③別院と教区・崇敬区域の新たな取り組みなどが含まれる。

中央(本山)に「別院の再編成に関する委員会」を置き、対象となる「教区・別院」は、教区内に「別院再編成協議会」を置くことになる。今まで、別院の会計監査だけであったが、今後、業務(教化・組織)指導が展開されることになると思われる。

これは、「中央(本山)⇄教区⇄別院」の三位一体を

再編成するというものです。すでに高山地区では、この三位一体の教化体制は稼働している。中央には「帰敬式実践運動推進事務室」⇄高山地区では「帰敬式推進室」⇄「別院式支配所」の連携ができています。又、「ご坊報恩講は教化の集大成である」をより充実して、全国の三位一体のモデルになる宗教的使命を高山地区は荷っている。改めて、意識化する必要がある。

■教別一体の教化

本願寺派(お西)では、20年前に別院の廃統合の事業が行われた。どのような結果になっているのか分からないが、門前の看板がその意味を語っている。「浄土真宗本願寺派 岐阜別院・岐阜教務所」が1つの看板に収まっている。

高山地区(旧高山教区)では「真宗大谷派 岐阜高山教務所 高山教務支所」と「ひだご坊真宗教化センター」の看板 2 つ。この2つが1つになることを願っている。実際、別院教化と教務所教化の、所謂教別一体の試みを始めている。代表をあげれば、「帰敬式推進室」である。

高山別院輪番
飛騨御坊真宗教化センター長
三島 多聞



★センター・別院からのお知らせ★

高山別院院議会報告 嘉念坊上人750回忌法要の勤修を！ 高山別院

令和7年度高山別院通常会が7月11日に開催され、全議案、全会一致でご承認を頂きました。

その中で「整備積立金」について、近年の夏場の高温化を鑑み、御坊会館に冷暖房設備が整えられたことについての承認。また、嘉念坊上人750回忌法要の厳修に向けて取り組みを始めることが可決されました。

なお、本年より報恩講の日程が変更されること。4月よりタイムズ24株式会社に委託しての駐車場事業が開始され、順調に運営されていることの報告がありました。

御坊会館空調整備にあたり、「飛騨学場」「大谷婦人会」よりご寄付をいただきました。この場をお借りし、御礼申し上げます。 高山別院輪番 三島多聞

高山別院報恩講 帰敬式 ※今年から2日午後の執行となります

今年も11月の高山別院報恩講において、鍵役剃刀により帰敬式が執行されます。

下段でお知らせのとおり、今年から帰敬式の執行が、2日の午後に変更となります。各ご寺院住職におかれましてはご留意いただき、受式者の方には、御速夜の参拝も含めた受式となることを、お伝えくださいますようお願いいたします。



センター・別院巡回(教務所長巡回に合わせて実施)

8月以降、各組において開催される教務所長巡回に合わせて、今年度も飛騨御坊真宗教化センター並びに高山別院の巡回も実施いたします。

飛騨御坊高山別院 報恩講 今年度より日程が大きく変わります 11月1日～3日

今年度より高山別院報恩講の日程が大きく変わります。

コロナ感染や社会状況の変動が縁となり、参拝者の減少が進みつつあり、また、高齢化が進む中、報恩講執行に関わる各団体の負担が問題になってきています。この際、今日の事情に合わせながらも、より多くの方々に参拝聴聞いただくことや各団体の負担軽減をはかるため、日程の変更をいたします。

- 1日の初速夜の音楽法要を、2日の初日中に移動。
- 1日の初速夜は報恩講実行委員で勤め、その後会場準備に入る。
- 「真宗公開講座」は、2日の初日中と大速夜の法座に組み入れる。
- 帰敬式を2日の午後1時に移動、大速夜は午後2時より執行する。
- 3日午前に結願日中を執り行い、正午に修了する。

【帰敬式について】11月2日午後1時～ 日時変更

- 午後1時～1時半執行。その後、御速夜同朋唱和に参拝いただく。
- 午後3時ころ御速夜法話後、法名伝達。各寺住職より所属門徒受式者に法名を手渡す。受式者所属寺住職は、御速夜に出仕する。

高山別院報恩講日程(案) 2025年度～					
1日		2日		3日	
		7:00	晨朝 御文(御正忌) 法話(20～30分)	7:00	晨朝 御文(鸞聖人) 法話(20～30分)
		10:00	初日中 音楽法要 表白文拝読 真宗公開講座①(50分)	10:00	結願日中 鍵役挨拶(5分) 法話(20分)
		11:30	昼休憩	11:45	昼休憩
13:00	初速夜 実行委内勤め	13:00	帰敬式 剃刀之儀	13:00	後片付け
13:30	報恩講準備	13:30	鍵役・法中着替え / 堂内整理		
		14:00	大速夜 同朋唱和 御俗姓 真宗公開講座②(30～40分)		
		15:45	法名伝達式(各寺より)	15:00	子ども報恩講
				16:00	作品展撤去
19:00	初夜 響讃御伝鈔				
20:30	終了・会場整理				
	※ 31日の準備は無し	※ は御参修		4日	
	※ 大根汁は2日と3日のみ	※ 各法要時間は90分程度		7:00	晨朝 おさらえ

戦後80年を迎えて④『そして鐘はならされた』一下呂・鳳凰開拓団の最期―①

■潔い自決を賛美した時代、80年前の日本

終戦直後の昭和20年8月24日夕刻、満州（現・中国東北部）のある開拓団集会場の半鐘が鳴らされてしまった。それを合図に下呂から入植した鳳凰開拓団は悲慘な最期を迎えた。186名（翌朝12名）が集団で自決、その大半が老幼婦女子だった。

満州だけでなく、沖縄本島のガマ（洞窟）や離島の島々で、一般市民が悲慘な死を遂げさせられた。市民の4人に1人が犠牲となった沖縄では、集団自決ではなく強制集団死と呼び、軍は住民を守らなかった、と語り継ぐ。「生きて虜囚の辱めを受けず」の戦陣訓の倫理観が、命の尊さより重んじられ、生き抜くことより、自決が潔い殉国精神として国は美化し民が賛美した時代、80年前の日本。

■敗戦を迎え、極限状態に追い込まれた開拓民

世界恐慌後、耕地が狭い日本の農村は困窮を極めていく。「五族共和・王道楽土」を謳い、「満州で大地主になれる」と夢を語る国策『満蒙開拓団』の奨励に、山間の飛騨からも多くの人が農業移民として満州開拓に赴いた。下呂南部を中心に岐阜県最初の分村計画を担った鳳凰開拓団、朝日村の分村を計画をした朝日開拓団。英中隊・濃飛青少年義勇軍は戦闘訓練を受けながら開墾する若者の開拓団だった。国策の開拓団は、軍の機密的・戦略的にソ連国境地帯に配置されていた。

昭和20年8月6日広島原爆投下、8日ソ連が一方的に不可侵条約を破棄し宣戦布告、9日

ソ連が満州へ侵攻し開拓団に恐怖が走った。長崎原爆投下、無条件降伏、そして護衛が約束されていたはずの関東軍の宿营地はもぬけの殻。次々ともたらされる真偽不明の情報・伝聞の錯綜が、パニックと悲劇の引き金になる。満州に取り残された27万の開拓民は、極限の混乱の中で、集団自決、悲惨極まる逃避行、極寒下の強制労働と収容所生活での餓死・感染病死など、悲しい末路をたどっていく。飛騨の土を踏むことなく異国に倒れた多くの先達。今も中国で残留し生きることを余儀なくされた人もいう。

■鳳凰開拓団、そして戦争を語り続けたKさん

当時16歳で鳳凰開拓団の青年団員だったKさんは、自決の合図を鐘で知らせる役だった、と寺の「平和を考える親子の集い」で初めて告白された。何度もお宅を訪ね入念な事前打ち合わせをした。体験談の内容が、あまりに衝撃的で繊細で、プライバシーの問題もあった。

鳳凰開拓団の悲劇を知ったのは、全国最多の開拓団を出した長野に駐在し、熱心に聞き取りを重ねてきた中日新聞萩原支局の記者からだ。彼は鳳凰開拓団の悲慘な過去を知ると同時に、下呂市民がその事実を全く知らないことに驚き、寺の非戦平和問題の連続講演会の企

画を知り、開拓団の帰還者で生存するKさんを教えてくれた。戦後80年の今も鳳凰開拓団の悲劇を知る人はほとんどいない。

Kさんは故郷に帰還後に克明なメモを書き始められ、私記「北満をさまよう御霊」を自費出版されていた。1.日ソ開戦～67.ふるさと、まで200頁超の長編で克明な手記だ。時系列の淡々とした場面描写の中に、戦争が露わにする人間本性の清濁を気づかせる自然体の表現に驚いた。16歳のKさんが、鋭い感受性で、人間の脆さと強靱さ、愚かさ、狡猾さ、弱さ、戦争が歪める倫理や道徳観、極限状況で揺らいでいく正義、究極の選択を強いてもなお死を美化し殺人に意味を持たせるかの当時の価値観。今では理解し難い事実、「あの時代状況では仕方がなかった」と諦め封じ込めさす国策の恐しさ。

何度も自ら体験した事実を穏やかに語られたKさん。しかし目の色を変え力説されたのは「教育の重要性」。そして必ず付け加えられた。「学校で学んだことも、家庭や地域で教わったことも、全部すっ飛んでしまうのが戦争です。だからどんな理由があっても戦争は絶対に始めてはいけません。すべてが吹っ飛ぶんです」と。10年前、私が事実を話すことが、亡き人の供養になる、と語り続けられたKさんは一昨年亡くなられた。Kさんの長い戦後は終わったのだろうか。80年後を生きる私たちは何を為すべきか。

（続）

益田組 永養寺住職 旭野康裕



飛騨御坊 HFP『ひだご坊一口法話』8月 宮川 摩耶氏（高山1組咲芳寺衆徒）三島 千裕氏（高山1組真蓮寺坊守）

今年も、御坊夏まつり

恒例となった、飛騨御坊仏教青年会主催による「ご坊夏まつり」が今年も開催されます。盆踊り、子ども遊び広場、飲食コーナーのほか、催し物多数！是非、お越しく下さい。



8月16日(土) 17:00 開宴 雨天決行！

池田博美(別院・センター)新任 ご挨拶

この度、退職されました倉田真奈美さんの後を引き継ぎ、高山別院様にお世話になることになりました池田博美と申します。何から何まで初めての事ばかりで、御輪番様はじめ、別院・教務所・各御寺院様には教えていただくことばかりかとは思いますが、頑張ってみりたいと思います。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。



飛騨御坊真宗教化センター・高山別院 2025年8月行事予定

日	曜	時間	ご坊センター・高山別院・教区・組	会 場
1	金	6:30 16:00	別 暁天講座：藤場 俊樹氏 9:00～飛騨学場 セ 寺族交流会 18:00～懇親会	本堂・御坊会館 御坊会館・庫裏ホール
2	土	6:30 13:00	別 暁天講座：三井 裕子氏 9:00～飛騨学場 別 追弔会 法話 藤枝 真氏	本堂・御坊会館
3	日	6:30 7:00	別 暁天講座：藤枝 真 氏 9:00～飛騨学場 別 半日華	本堂・御坊会館
4	月	6:30	別 暁天講座：金龍 静 氏 9:00～飛騨学場	本堂・御坊会館
5	火	6:30	別 暁天講座：三島 多聞 氏 9:00～飛騨学場	本堂・御坊会館
6	水	19:00	組 高山2組 教化委員会	研修室
7	木			
8	金			
9	土			
10	日			
11	月	13:00	別 大谷婦人会定例 法話:三島多聞（輪番）	教務所夏季休暇 9日～17日
12	火			
13	水	7:00	別 前住上人ご命日 別 一日華	
14	木			
15	金			
16	土	17:00	ご坊夏まつり	
17	日			
18	月			

日	曜	時間	ご坊センター・高山別院・教区・組	会 場
19	火			
20	水			
21	木	14：00	教 是施陀羅問題に取組む実行委員会	WEB
22	金			
23	土			
24	日			
25	月	14:00	組 高山2組総会・所長巡回	御坊会館
26	日	7:00 16:00	別 半日華 組 高山1組所長巡回	
27	月	13:00	別 お逮夜	本堂
28	木	13:00	別 親鸞聖人御命日 法話:白尾 匡氏(長圓寺住職)	本堂
29	日		組 高山2組同朋の会推進講座後期教習（～31日）	
30	月			
31	木			

2025年9月 ※中旬までの掲載とし、定例行事は省きます。

日	曜	時間	ご坊センター・高山別院	日	曜	時間	ご坊センター・高山別院
3	水	16:00	組 古城組所長巡回	10	水	14：00	教 解放推進協議会常任委員会
6	土	14:30	組 朝日高根組所長巡回	11	木	13：30	組 高山2組会
8	月	14:00	教 解放推進協議会輪談会	14	日	13：00	別 納骨経

教務支所夏季休暇 期間:9日(土)～17日(日) ※緊急の場合は別院までご連絡ください。